

現計画「宇治市スポーツ推進計画」の総括について

1. スポーツ推進のビジョン

基本理念：スポーツが育むふるさと宇治の魅力と未来

基本理念に込められた2つの想い

- スポーツが本来持つ魅力や価値を市民が享受できる豊かなスポーツライフを創造し、市民とスポーツの多面的なかかわりを強める。
- スポーツの様々な可能性を本市のまちづくりに活かし、宇治の魅力と未来を創造する。



戦略的方針

1. 人とスポーツの多面的なかかわりを強化する。
2. スポーツが持つ可能性を魅力的な宇治市のまちづくりに活かす。
3. スポーツとまちづくりを推進する新しい仕組みを創る。

2. 「スポーツが育むふるさと宇治の魅力と未来」を実現するための施策体系

戦略的方針

1. 人とスポーツとの多面的なかかわりを強めるための取り組み

(1) ライフステージに応じたスポーツの推進

乳幼児期(0～5歳)

- 運動の楽しさや体作りの大切さについて普及啓発します
- テレビ等の長時間視聴が健康に与える影響に対する正しい知識を普及啓発します
- 親子で運動が楽しめる遊び場や機会、散歩コース等の情報を提供します
- 運動を行いやすい公園の整備に努めます



【市民スポーツまつり】

【実績】

宇治子育て情報誌において親子で気軽に集い、相互に交流が図ることができる「ひろば」についての情報を掲載しました。また、平成27年度以降、5つの児童公園の新設を行いました。

【課題】

健康福祉分野と、更なる連携を図ることが課題となっています。

少年期(6～15歳)

- プロスポーツ団体と協働し、スポーツを楽しみながらコミュニケーション能力など様々なスキルを身につけられるような取り組みを行います
- テレビ等の長時間視聴が健康に与える影響に対する正しい知識を普及啓発します
- 親子でスポーツが楽しめる遊び場や機会、散歩コース等の情報を提供します
- 運動・スポーツを行いやすい公園の整備に努めます
- 講習会や研修会を開催することで指導者のスキルアップを図り、スポーツを継続して行えるような環境の構築に努めます
- 他地域の人とスポーツを通じて交流を図ることができるような取り組みをします



【サンガつながり隊】

【実績】

「サンガつながり隊」事業（京都サンガF.C.）と協働して、選手やコーチが市内小学校を訪問し、スポーツの楽しさを伝える事業に取り組みました。また、

生涯スポーツの指導者研修事業等を宇治市スポーツ協会において実施し、宇治市体育振興会連合会事業においても他地域の交流を図る事業を実施しました。

市民スポーツまつりでは、食育や歯科相談のブースも出展し、幅広く健康を意識してもらおう取組を行いました。

【課題】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための、新しい生活様式における事業実施・運用方法の確立が課題となっています。

青年期(16～29歳) 壮年前期(30～44歳) 壮年後期(45～64歳) 共通

- 仕事や子育てが忙しい人が参加しやすい機会づくりをします
- スポーツが健康に与える効果や効率的な運動方法について啓発します
- スポーツサークルやスポーツ大会などの情報を提供し、目的にあった活動に出会えるきっかけづくりに努めます
- 運動・スポーツの活動場所の有効活用を推進します
- 市民要望に応える体育施設とするため、都市整備部門と連携し、施設・設備の機能拡充や計画的な改修を検討します
- プロスポーツ団体と協働し、レベルの高い競技を見る機会をつくります
- ボランティアとしてスポーツに関わることができるよう、情報提供をします
- 親子でスポーツが楽しめる遊び場や機会、散歩コース等の情報を提供します



【ニュースポーツひろば】



【黄檗公園野球場】

【実績】

宇治市スポーツ推進委員による講師派遣や、体育用具の無料貸出しを行い、各団体が実施するスポーツイベントを支援しました。

市民が自由に参加できるニュースポーツひろば(年31回)や、スポーツの日における市民スポーツまつりを実施し、日常生活で取り組みやすいニュースポーツの普及を図りました。

黄檗公園や西宇治公園の運営、学校体育施設開放事業として教育施設の利用を図るなど、運動・スポーツの活動場所の有効活用を推進しています。また、黄檗公園では、体育館空調改修工事や外野エリアの人工芝化等のグラウンド改修工事等、再整備事業を実施しました。

【課題】

参加者数が横ばいもしくは減少傾向にあることや、参加者の固定化といった状況があり、幅広い世代に向け、情報発信や実施方法の工夫が課題となっています。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための、新しい生活様式における事業実施・運用方法の確立が課題となっています。(再掲)

高齢期(65歳以上)

- スポーツ活動に取り組むことで、生活習慣病の予防や介護予防となるような情報の発信に努めます
- スポーツが健康に与える効果や効率的な運動方法について啓発します
- 外出し、スポーツを楽しんだり、地域活動への参加がしやすいように、情報発信をします
- 運動・スポーツの活動場所の有効活用を推進します
- 市民要望に応える体育施設とするため、都市整備部門と連携し、施設・設備の機能拡充や計画的な改修を検討します
- 日常生活で取り組みやすいスポーツの普及啓発します



【体振連交流グラウンド・ゴルフ大会】

【実績】

年齢を重ねても健康であり続けられるよう、介護予防の観点からパワリハトレニング等を取り入れた健康倶楽部事業等、健康づくりに係る取り組みを実施しました。

Uji 健歩会と協働し、特定保健指導「リフレッシュウォーキング」やウォーキングマップの作成など、健康寿命の延伸や生活習慣病発症予防等の取組を実施しました。

【課題】

スポーツイベントにおいて、参加者数が横ばいもしくは減少傾向にあることや、参加者の固定化といった状況があり、幅広い世代に向け、情報発信や実施方法の工夫が課題となっています。(再掲)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための、新しい生活様式における事業実施・運用方法の確立が課題となっています。(再掲)

健康福祉分野と、更なる連携を図ることが課題となっています。(再掲)

(2) 多面的なスポーツへの参画の推進

《する》

- 各種スポーツ教室・大会を実施します
- 年齢や運動能力、障害の有無にかかわらず誰もが気軽にスポーツを楽しめるニュースポーツを普及推進します
- 仕事や子育てが忙しい人が参加しやすい機会づくりをします



【市民駅伝競走大会】



【市民総合体育大会開会式】



【市民ファミリーバドミントン大会】



【障害者スポーツ大会】

【実績】

各種スポーツ教室・大会事業として、市民総合体育大会、障害者スポーツ大会、市民ファミリーバドミントン大会、ニュースポーツひろばなどの大会・事業を実施し、スポーツ実施機会の創出を図りました。

【課題】

参加者数が横ばいもしくは減少傾向にあることや、参加者の固定化といった状況があり、幅広い世代に向け、情報発信や実施方法の工夫が課題となっております。(再掲)

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための、新しい生活様式における事業実施・運用方法の確立が課題となっております。(再掲)

《ささえる》

- スポーツボランティアの育成のための研修を実施します
- スポーツボランティアが参画しやすいイベントを実施します
- プロスポーツ団体、民間企業、大学等と協働して、様々なスポーツ機会を創出します
- スポーツ推進に貢献いただいた方を顕彰します



【宇治川マラソン大会ボランティアスタッフ】



【全国大会等出場者激励会】



【宇治市スポーツ賞表彰式】

【実績】

宇治川マラソン大会や障害者スポーツ大会において、宇治市スポーツ協会や宇治市体育振興会連合会、宇治市スポーツ推進委員協議会など、関係団体の協力も得て、ボランティアと協働し大会を実施しています。

スポーツの日開催の市民スポーツまつりでは、京都サンガF.C.に加え京都

ハンナリーズ・京都フローラの協力を得てスポーツ体験ブースを設置し、プロスポーツチームが掲げる地域密着・貢献・普及活動と協働・連携し、市民がスポーツについての関心や理解を深め、積極的にスポーツを行う意欲を持つとともに、プロスポーツチームへの理解を深め、地域内の一体感を醸成するように努めました。

宇治市スポーツ賞により、スポーツに関し優秀な成績を収めた者や団体、また、体育・スポーツの健全な普及及び発展に貢献・寄与した者や団体を表彰し、本市の競技スポーツや生涯スポーツの普及振興に貢献しています。

【課題】

ボランティア役員の高齢化等によるスポーツを「ささえる」人材不足について、効果的な対策を早急に検討することが課題となっています。

《まなぶ》

- トップアスリートなどを招いた講習会を実施します
- 地域のスポーツ指導者がその経験を活用し、指導を行うことができる環境の整備に努めます
- 学校やスポーツ少年団・青少年育成団体と連携したスポーツ推進を行います
- レベルの高い競技を観戦することができる機会の提供に努めます



【「市民スポーツまつり」体力測定の様子】

【実績】

各種交流大会等、宇治市スポーツ少年団育成事業に取り組みました。

市民スポーツまつりにおいて、地域のスポーツ指導者と協働し、体力測定等、市民の運動・スポーツする機会の創出に努めました。

【課題】

ボランティア役員の高齢化等による、スポーツを「ささえる」人材不足について、効果的な対策を早急に検討することが課題となっています。(再掲)

《みる》

- プロスポーツチームと協働し、観戦する機会を提供します
- レベルの高いスポーツ大会などの情報を発信し、観戦する機会の提供に努めます
- 参加するだけでなく、みて楽しむことのできるスポーツイベントとなるよう、イベント内容を検討します



【「京都サンガ F.C.ホームタウン応援デー」の様子 左2枚は宇治市PRブース 最右は試合観戦】

【実績】

京都サンガF.C.ホームタウン応援デーにおいて、宇治市観光協会、宇治商工会議所および京都府茶協同組合との連携により、宇治市PRブースを出展し、宇治市観光の紹介や宇治市土産品の販売、お茶の無料接待などを行い、市内外の観戦者へ宇治市の文化や魅力の発信・普及活動に努めています。

【課題】

宇治市が京都サンガF.C.ホームタウンであることが十分に認知されておらず、京都ハンナリーズ等も含め、プロスポーツチームとの更なる連携を図ることが課題となっています。

《つくる》

- スポーツ協会・競技団体・地域体育振興会・総合型地域スポーツクラブ・NPOなど、スポーツ推進の主体となるべき団体と連携を強めます
- 地域体育振興会が存在しない小学校区での設立を支援します
- 新たな課題や社会情勢をとらえた講習会を実施します



【体振連交流球技大会】



【体振連交流ボウリング大会】



【スポーツ少年団新春合同大会】

【実績】

宇治市スポーツ協会、宇治市体育振興会連合会、NPO法人等とも連携し、市民総合体育大会や宇治川マラソン大会などの事業に取り組みました。

【課題】

ボランティア役員の高齢化等によるスポーツを「ささえる」人材不足について、効果的な対策を早急に検討することが課題となっています。（再掲）

戦略的方針

2. スポーツが持つ可能性を魅力的なまちづくりに活かす取り組み

(1) スポーツによるコミュニティの創生及び再生

- スポーツと防犯や防災など、身近な問題とを組み合わせるスポーツイベントの実施に取り組みます。
- 地域の様々な団体が、協働してスポーツイベントを行うことができるような体制を支援します

(2) 本市の活性化につながるスポーツイベントの実施及び誘致

- 本市の魅力を発信できるようなスポーツイベントの実施及び誘致に努めます
- 企業などのスポーツ関連団体以外の団体と連携して、スポーツイベントを実施できる体制の構築に努めます
- 本市の魅力を PR でき、また地域の活性化にもつながるよう、国内外を問わず他都市とのスポーツ交流を推進します



【木下アカデミー京都アイスアリーナ】



【宇治宇部交流スポーツ大会】

【実績】

プロスポーツチームとの協働・連携として、京都サンガF.C.ホームタウン応援デーにおいて、宇治市観光協会、宇治商工会議所および京都府茶協同組合との連携により、宇治市PRブースを出展し、宇治市観光の紹介や宇治市土産品の販売など、市内外の観戦者へ宇治市の文化や魅力の発信・普及活動に努めました。

昭和63年の京都国体でのサッカー競技をきっかけとして、宇部市とのスポーツ交流を毎年行っています。

木下アカデミー京都アイスアリーナが、京都府内で唯一となる通年型のアイスアリーナとして、令和元年12月にオープンしました。

2022年5月（延期後日程）に世界最大の生涯スポーツにおける国際総合競技大会であるワールドマスターズゲームズ2021が、アジアで初めて日本（関西）で開催される。フライングディスク競技（アルティメット）が京都府山城総合運動公園（太陽が丘）で開催される予定で、市実行委員会を設立し、開催に向けて取り組んでいます。

【課題】

新たに開設されたアイスアリーナ等のスポーツ施設でのスポーツイベントの実施等、今後どのように連携していくのかが課題となっています。

ワールドマスターズゲームズ2021を契機に、フライングディスク等の活用による新たな魅力を発信し、まちづくりに活かすことが課題となっています。

戦略的方針

3. スポーツとまちづくりを推進する新しい仕組みを創る

- 本市の組織内だけでなく、様々な市民団体とも連携し、スポーツの枠組みを超えた健康づくりやまちづくりを推進する新しい仕組みを構築します
- スポーツを活用した地域活性化を支える人材の育成に努めます



【宇治川マラソン大会】

【実績】

本市の冬のスポーツイベントとして定着している宇治川マラソン大会は、宇治市・宇治市スポーツ協会をはじめとした各団体で構成する実行委員会が主催となり、市内の様々な市民団体とも連携し、本市の魅力発信や、健康づくり、まちづくりを推進しています。また、スポーツの普及・発展に寄与するだけでなく、市民ボランティアやコース沿道での声援を送る多くの市民の参加があり、全市的なイベントになっています。

気持ちよくからだを動かしたいという想いを実現するため、「<うー茶ん>サンバde体操」を有識者監修・関係団体協力のもと作成し、イラストや動画も活用し普及に努めました。

宇治市オリジナル健康体操『「チャチャ王国のおうじちゃま」～げんき！！ちゃまちゃま体操～』を、宇治商工会議所や民間企業の健康運動指導士に協力をいただき作成し、動画配信等を活用し普及に努めました。

【課題】

宇治川マラソン大会について、ボランティアの高齢化等による担い手不足や全国的にマラソン大会が増えたことなどによる参加者の減少が課題となっています。今後、大会の魅力向上に努めるとともに、担い手側もやりがいを感じるような仕組みを検討する必要があります。また、ワールドマスターズゲームズ2021 関西を契機として、フライングディスクを更なるまちの活性化につなげる新しい仕組みづくりが必要です。

スポーツに係る様々な事業において、文化、観光、産業など、他分野とのつながりの更なる強化を図ることが重要です。

3. 計画の推進にあたって

(1) 計画推進において掲げる目標等

項目	策定時	目標値	評価	資料
スポーツ・運動で体を動かすことが好きな人の割合	約 80%	90%		※1
市の主催等による各種スポーツ大会・教室・ひろば等の参加者数	-	毎年増加	各々において 減少及び横ばい	(2) 内訳
1日2時間以上外遊びしている子どもの割合（宇治市健康づくり・食育推進計画と運動）	38%	60%	22.9%	※2
体育の授業以外で週3日以上運動・スポーツする小中学生の割合	小 60.7% 中 72.1%	小 75% 中 80%	小 65.6% 中 74.7%	※2
成人（20歳以上）の週1回以上の運動・スポーツの実施率	約 50%	3人に2人 65%程度	49.6%	※2
成人（20歳以上）の週3回以上の運動・スポーツの実施率	約 30%	3人に1人 30%程度	27.2%	※2
スポーツや運動の競技会等へのボランティアスタッフ経験割合	12.6%	20%		※1
宇治市観光リピーター率	約 58%	70%	56.3%	※3
宇治市スポーツ施策に対する満足度	-	100%		※1

※1 今後実施する市民及び関連団体アンケートにおいて、調査を行います。

※2 健康づくりに関するアンケート（評価は令和2年度実施分）

※3 宇治市観光動向調査（評価は平成29年度実施分）

(2) 参加者数等

	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
市主催等による各種スポーツ大会・教室・ひろば等参加者数 合計	43,210人	40,812人	38,481人	37,880人	35,925人

※計画策定時参考値：25年度【40,870人】

市主催事業一例

	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
ニュースポーツひろば	1,232	1,333	1,361	1,199	1,371
障害者スポーツ大会	646	721	726	606	556
宇治川マラソン大会（申込者数）	2,613	2,523	2,560	2,269	2,194

※令和元年度宇治川マラソン大会は新型コロナウイルス感染症にて直前中止

4. 総括のまとめ

1. 現状の課題（現計画の総括より）

- ① 各事業の参加者数の横ばいや減少傾向、参加者の固定化といった状況に対する、情報発信や実施方法の改善
- ② ウイズコロナ、ポストコロナ社会の事業実施・運用方法の確立
- ③ ボランティアの高齢化等によるスポーツを「ささえる」人材の不足
- ④ 新たに開設されたアイスアリーナ等のスポーツ拠点との連携方法
- ⑤ 健康づくり、障害福祉、文化、観光、産業等、他分野とのつながりのさらなる強化
- ⑥ ワールドマスターズゲームズ 2021 関西を契機とする、さらなるまちの活性化



2. 見直しの基本的な考え方

- ① 誰もがスポーツを楽しめる環境づくり
- ② 高齢化、IT技術の発達等、社会の変化への対応
- ③ ウイズコロナ、ポストコロナ社会を見据えた取組
- ④ 「ささえる」人材不足に対する、効果的な取組
- ⑤ ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の宇治市開催種目であるフライングディスクを活用した新たな取組
- ⑥ 各スポーツ施設、団体に加えて、他分野とのつながりを重視
- ⑦ ビジョンの明確化、市民へのわかりやすさを重視